



コンバートEV 1時間ディスタンスチャレンジ

手作りのコンバートEV（電気自動車）による1時間耐久チャレンジ。バッテリーの種類により鉛電池クラスとリチウムイオン電池クラスの2クラス設けます。今回りリチウムイオン電池クラスは、耐久チャレンジ前に2周スプリントに挑戦。耐久チャレンジは、鉛電池とリチウムイオン電池の両クラス混合、ハンディ無しで走行します。ドライバーの人数は無制限。地球温暖化クイズの結果を反映するなど、独自のルールを設けたEVによる新しいモータースポーツです。

変更 ●トリアル内容

- ・1周2kmのサーキットを、1時間で何周できるかを競います。
- ・リチウムイオン電池クラスは、耐久チャレンジ前に2周スプリントに出場します（走行時間を限定します）。
- ・1時間耐久チャレンジは、バッテリーの種類／搭載量によるハンディは設けず、鉛電池クラスと、リチウムイオン電池クラスの混合で走行します。ただし、リチウムイオン電池クラスは鉛電池クラスのスタート後に、スプリントの成績順にスタートします。
- ・ドライバーの人数は無制限です。ただし、ピットイン5回以上、ピットストップ30秒以上の停止を義務づけます（ドライバー人数による、周回数加算はありませんが、いっぱい乗せたで賞を設けます）。
- ・レース中のバッテリー交換、および充電は禁止（レース中以外でも許可のない充電は禁止）。
- ・レース前に「地球温暖化クイズ」を行います。不正解の場合は、周回数が減算されます。
- ・ピットはホームストレート上に設置します。

●参加車両

- ・コンバートEV（市販エンジン車をEV（電気自動車）に会員が自ら改造したもの）で、日本EVフェスティバル・トリアル特別規則書に準拠した車両（2010年より改定）。

- 変更
 - ・バッテリーの種類により、鉛電池クラスとリチウムイオン電池クラス（鉛電池以外のバッテリー）の2クラス設けます。バッテリー搭載量、総電力量によるハンディは設けません。
 - ・ディスタンスチャレンジで使用できるバッテリーは1セットのみ（レース中の交換、充電禁止）。
 - ・リチウムイオン電池クラスは、スプリントとディスタンスチャレンジ通して1セットのみ（レース中の交換、充電禁止）。
 - ・車両重量は、コンバート前の車両重量の1.5倍までとします。

●エントラント（ドライバー）

- ・車両1台、ドライバー数は無制限（1名でも可）。ドライバー代表者（＝申込者）は、日本EVクラブ会員に限りです。
- ・ドライバーは、普通免許所有者（フェスティバルなどEVレースの参加者、サーキット走行経験者がのぞましい）。
- ・サーキット走行未経験者には、当日、コースガイドを行う予定です。

●賞典

- 変更
 - ・総合賞：上位3位まで表彰（クラス混合）
 - ・鉛電池クラス賞：上位3位まで表彰
 - ・いっぱい乗せたで賞：ドライバー人数（初乗りのみカウント）の最も多いチームを表彰。

今年のコンバートEVディスタンスチャレンジは1時間。もちろんBGMはクラシック
●
今回は、耐久チャレンジの前にリチウムイオン電池クラスが2周スプリントに挑戦。去年までのハンディ分を先に走行!

何でもEV展示&デモンストレーション

レーシングEV、電気バイクなどアイデア満載のEVの展示&デモンストレーション。

●手作りEV展示&デモ

- ・デモンストレーション：ホームストレートを往復（コース1周は無し）。
- ・参加車両：EVに改造した乗物（カテゴリーは問わない）、市販EVなど電気の乗り物であれば出場可。ただし、コンバートEV、ERKのトリアルに参加しない個人所有のEVに限りです。
- ・エントラント：車両1台につき展示者兼デモ走行者1名（日本EVクラブ会員に限る）
- ・賞典：パフォーマンス賞

●レーシングEVデモ（招待チームのみ）

レーシングEVによる最高速デモ走行!

環境EXPO／EV・エコカー試乗会

EVの最新情報と環境対応技術をテーマにしたブース。自動車メーカー・EV関連企業による、EV、エコカー、環境対応技術、次世代車等の最新技術に関する展示を行います。21世紀のモータリゼーションを拓く技術としてご覧ください。各ブースのプレゼンテーションの時間も設けています。

2011年出展例：JFEエンジニアリング（株）、トーカドエナジー（株）、トヨタ自動車（株）、日産自動車（株）、ビー・エム・ダビュリュウ（株）、本田技研工業（株）、マツダ（株）、三菱自動車工業（株）、メルセデス・ベンツ日本（株）、横浜ゴム（株）

◆EV・エコカー試乗会

メーカーEV・エコカーの試乗会を行います（サーキット同乗試乗会の予定）。

◆ベンチャーテント

環境対応技術開発に意欲的に取り組む、EVクラブ会員のベンチャー企業が出展。

◆支部テント

地方支部のテントを設け、独自の行動を紹介します。

エコカー試乗会

サーキットコースでエコカーに同乗試乗できる! ドライバーは、モータージャーナリスト! エコカーの解説付き（同乗試乗のみ）

何でもEV展示&デモが楽しい!

ユニークで楽しいEVが登場。EVレーサーの最速デモ走行は毎年大人気!



今年もERKは、30分耐久チャレンジと美走選手権で競います。速さと美しさで勝負!

フェスティバル総合賞「あんたが大賞」

●
トリアルの成績、CO2排出量診断の成績、ボランティアポイント、エントリーから当日までのマナーポイントなどで優秀なチームを表彰! 来年のエントリーフィーが無料に!

集まれ市販EV!

●
ご自身の市販EVで来ませんか?

Reducing CO2 コーナー

今回もまたフェスティバルのメインテーマは、Reducing CO2です。

地球温暖化を少しでも遅らせるために、ぜひCO2排出量削減に取り組んでください。

Reducing CO2テントでは、恒例のCO2排出量診断を行います。

ご自分のCO2排出量を知る良い機会です。

CO2排出量診断は、自宅から会場に来るまでに排出したCO2を診断します。

CO2排出量のカウントは、使う交通機関でそれぞれ係数が異なります。徒歩や自転車、EVIはゼロです。

ご自分のCO2排出量を知り、CO2排出の少ない交通方法について考えましょう。

◆全員参加CO2排出量診断コンテスト（見学者対象）

1人、1kmあたりのCO2排出量（移動距離の長短は関係なし）の低かったトップ1を表彰します。

※すべての競技の詳細は、日本EVフェスティバル・トリアル特別規則書に記載します。

トリアル特別規則書は、エントリー申込者に配布します。

※開催概要・参加要項の内容は、予告なく変更になる場合があります。

※ **変更** は2011年からの変更です。

ERK 30分耐久チャレンジ&全日本電動美走選手権

手作りの電気レーシングカート（ERK）による30分耐久チャレンジと全日本電動美走選手権（フィギュア演走）を行います。

30分耐久チャレンジは、コンバートEV同様、ホームストレート上にピットを設けたコースで行います。バッテリーセット数は無制限（バッテリー交換時2分以上停止）、ドライバー人数も無制限。全日本電動美走選手権は、ERKでフィギュア演走を行い、芸術性を競います。ホームストレートをリンクに見立て、ERKが華麗な演技を披露します。

参加チームは、必ず30分耐久チャレンジと全日本電動美走選手権の両方に参加してください。

●トリアル内容

<30分耐久チャレンジ>

- ・サーキットコースを30分で何周できるかを競います。

●変更

- ・ドライバー人数は無制限。ただし、ピットイン5回以上を義務づけます。ピットインの際に必ずドライバー交替をしてください（ピットイン時の停止義務時間はありません）。（ドライバー人数による、周回数加算はありませんが、いっぱい乗せたで賞を設けます。）

- ・1チームのドライバーは2名以上。
- ・バッテリーセット数は無制限。バッテリー交換時2分以上停止を義務づけます。
- ・ピットはホームストレート上に設置します。

<全日本電動美走選手権>

- ・ホームストレッチ上に、美走リンクを作り（コースを設定）、決められた演技時間で、あらかじめ決められた規定（エイトクロス、360度ターンなど）により演走します。同形のコースを2つ設定し、2チーム同時に演走します。1チームのドライバーは1名。
- ・特別審査員の投票により順位を決定します（予定）。

●参加車両

- ・ガンリンレーシングカートをEVに改造したもの。日本EVクラブERK車両規定（2011年クラス分け改定）に合致する車両。ERK1クラス：DCブラシモーター、鉛バッテリー48V、モーターおよびコントローラーの指定はなし
- ERK2クラス：モーター自由、鉛バッテリー72V
- ERKリチウムイオンバッテリークラス：モーター自由、リチウムイオンバッテリー搭載
- ・30分耐久チャレンジで使用できるバッテリーは、無制限（バッテリー交換時2分以上停止を義務づけます）。

●エントラント（ドライバー）

- ・車両1台、ドライバー2名以上。ドライバー代表者（＝申込者）は、日本EVクラブ会員に限りです。30分耐久は2名以上で参加、全日本電動美走選手権は、ドライバー1名、1演走のみの参加です。ドライバーは、普通免許所有者。

●賞典

- ・30分耐久チャレンジ賞：クラス別に、上位3位まで表彰。
- ・美走賞：最も投票が多かったドライバー1名を表彰（クラス混合）
- ・いっぱい乗せたで賞：耐久チャレンジのドライバー人数（初乗りのみカウント）のもっとも多いチームを表彰。

ピットロードから観戦しよう

●
ピットロードが観客席&カフェに早変わり。ゆっくりEVフェスティバルをお楽しみください。

CO2排出量を診断しよう

●
自宅からEVフェスティバル会場までに排出したCO2を調べて、CO2排出の少ない交通方法について考えましょう。